

# 2021年度 事業計画書 活動予算書

～事業期間～

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人  
地域ひといき  
理事長 小林 聖司

2021/05/29

# 2021年度 事業計画書

特定非営利活動法人 地域ひといき

## I 事業の実施方針

全事業において、初心に立ち返り、収益に囚われずに子育て支援を行うこととする。当法人理念に基づいて、地域の子育て家庭の笑顔促進のために考えられる、様々なサービスを開発するとともに、それをより良く伝えるための販促ツールを整備する。各事業の展開については次に示す通りとする。

## II 各事業の実施方針

- ・保育所事業では事業所内保育所『大塚わくわく園』において引き続き、企業主導型保育園を運営する。しかしながら、企業主導型保育園と認可保育園との制度面での格差は依然として残り、同じ土俵の中で認可保育園と保育の質で競う事が出来ない状況である。そのため、積極的に認可保育園を目指していくと共に、均衡した制度設計に向け、国に臆することなく意見をしていく。そのためには、現場の運営力を強化し、口だけでなく、「高槻に大塚わくわく園あり」と言わしめるほどの実力を伴わせ、粘り強く交渉を行っていきたい。また、市の小規模保育施設事業者の公募に応募して、大塚わくわく園の近隣に小規模保育施設『大塚いきいき園』の設立を目指す。
- ・学童児支援事業では生活困窮者向け学習塾『サンライズ』について、月・水・金曜に実施する。また、今年度より生活保護世帯や非課税世帯は月謝を無料にするなど、段階的な料金設定を行っていく。そのほかに子ども食堂を開設して学童児支援事業の強化を図る。夏のイベントでの小学生キャンプは希望する声やコロナウイルスの状況も鑑みながら、実施を検討する。
- ・夜間養育事業では社会的養護に対応すべく、昨年度に自宅を移転した代表の自宅をもって、継続して実施する。特にその他、事業を積極的に行うことからのニーズを證素し、必要があれば、養育ボランティアを確保するなどして、積極的に運用していく。また、ファミリーホームについては10年後あたりの開設と長い目で考えていく。
- ・カウンセリング事業はエステ型のヒーリングスペースを「旧地域ひといき事務所」である高槻市大塚町5-8-5の1階に場所を移転して実施する。YOSAについても、法人の各事業を活性化することによって、集客を促したい。

- ・育児知識等啓発事業では引き続き、『大塚わくわく園』の地域支援交流室において託児付きの子育て無料講座を各種開催し啓発を拡大する。また、毎年実施している高槻市保健所とイクメン講座について、協働の打診があれば、協働していく。
- ・集い場所の提供事業は引き続き『大塚わくわく園』の地域交流支援室で実施をする。水光熱費程度のワンコイン（4時間まで500円）で貸しだし児童支援公益活動団体やママ会、サークルなどにレンタルスペースとして貸出しをする。
- ・育児用品リサイクル事業では今年度も寄贈品を受け付けて物品を効率よくリサイクルする。とはいっても、インターネットで販売すると梱包の手間などがあり、それほど安価で販売することも出来ない状況でもあり、集い場所の提供事業などにおいて地域交流室にお越しになられた地域の皆様へカタログ式にして、販売を閲覧、販売していくような形も実施する。
- ・育児支援員仲介事業では主に家庭からの要請で家庭に赴いて、家庭での育児の困りごとや問題点を解決するという形で保育士の専門性を家庭に届けていく形での事業展開としている。他に便利屋サービスとして、様々な物事を気軽に頼んで頂けるような形で実施している。
- ・職業紹介再就職支援事業では引き続き、保育園への入園を希望し、かつ同時に仕事を探されている保護者様を中心にして、大塚わくわく園の共同利用企業の求人を紹介して、保育園の決定と同時に仕事も決まるという形で育児・子育てによってリタイアした保護者様の再就職支援を行っていく。

## II 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### （1）保育所事業

【内容】 保育が必要な乳幼児を預かり、家庭に代わって保育を行う。月極保育50名、一時保育4名の定員で運営を行っていく。また、2名定員の病児保育を実施して、地域の働く保護者様を強力にバックアップしていく。また、小規模保育施設の公募があれば、【大塚いきいき園】として、それに応募する。

【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』

【新園予定】 大阪府高槻市南東地区（大塚わくわく園近隣）

【実施日時】 全ての曜日 7:00~20:00（月極保育）

主に平日 8:30~17:30（一時・病児保育）

【事業の対象者】 当園の利用を希望するご家庭

【収入】 124,693,220円 【支出】 124,940,188円

## (2) 夜間養育支援事業

- 【内容】 夜間の間、児童を養育困難な家庭、緊急時に養育出来ない家庭に対して、1時間500円の低料金にて児童を預かり家庭に代わって養育し、必要な場合は併行して就労支援を行ったりして、家庭機能の回復に向け支援する。
- 【実施場所】 大阪府高槻市南部 『大塚のびのび園』
- 【実施日時】 20:00～翌7:00
- 【事業の対象者】 要保護児童及び要養育支援家庭
- 【収入】 50,000円 【支出】 45,000円

## 2 収益事業に係る事業

### (1) 学童児支援事業（学習塾、各キャンプ）

- 【内容】 学習支援塾『サンライズ』は通年実施し、居場所提供型の子ども食堂を10月には開設する。また、恒例の夏休み期間の小学生キャンプは希望者があればコロナウイルスの状況を鑑みながら実施を検討する。
- 【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-8-5 『地域ひといき旧事務所』  
近畿圏及び周辺(小キャン)
- 【実施日時】 毎週月・水・金曜日 16:00～20:00 (サンライズ)  
7月～8月の平日の1泊2日 (小・中学生キャンプ)
- 【事業の対象者】 就学後から中学生までの児童
- 【収入】 716,000円 【支出】 648,000円

### (2) カウンセリング事業

- 【内容】 法人を知ってもらうことから始め、それに伴ってエステ事業を推進していく、保護者様のほっとしたひといきつける空間を提供していく。
- 【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-8-5 『地域ひといき旧事務所』
- 【実施日時】 終日 (予約制)
- 【事業の対象者】 施設周辺地域に暮らしえステ、カウンセリングを希望する者。
- 【収入】 250,000円 【支出】 210,000円

### (3) 育児知識等啓発事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』地域支援交流室において子育て講座を各種開催する。また、保健所との協働でイクメン講座を実施。代表著書「仕事も育児も大切なパパに送る本」も隨時販売を行う。また、状況に応じて高槻・魂の声聴きたい講座、高槻・子どもたちの家講座などを行う。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』を中心として、高槻市南東地区
- 【実施日時】 年間5講座程度

【事業の対象者】高槻市内に住む保護者や子どもで講座参加を希望する者。

【収入】 200,000円 【支出】 50,000円

(4) 集い場所の提供事業

【内容】 『大塚わくわく園』の地域支援交流室を貸し出し、市内の公益活動団体やママ会、サークル活動などに貸し出して、様々な集い場所を作る。

【実施場所】 『大塚わくわく園』 地域支援交流室

【実施日時】 通年（8:00～19:30）※但し、法人で利用しない日に限る。

【事業の対象者】高槻市南東地区に住む保護者や子ども。

【収入】 20,000円 【支出】 20,000円

(5) 育児用品リサイクル事業

【内容】 必要のなくなった育児用品を回収、売却によりリサイクルを行う。

【実施場所】 インターネットオークション等

【実施日時】 通年終日

【事業の対象者】育児用品を必要とする者

【収入】 100,000円 【支出】 50,000円

(6) 育児支援員仲介事業

【内容】 主に家庭において、子どもたちの養育に困っている家庭に赴いて、保育士視点から改善点を共に考えられる支援を実施する。

【実施場所】 高槻市内全域

【実施日時】 通年終日

【事業の対象者】近隣で希望のあったご家庭

【収入】 10,000円 【支出】 10,000円

(7) 職業紹介再就職支援事業

【内容】 子どもを保育園に預けて、再就職したいという主に母親に対して、当法人で連携している企業などを紹介し、男女の雇用機会均等に寄与する。また、企業からはわずかながらの紹介料を頂き、法人の自主事業収益として他の支援充実に充てる。

【実施場所】 施設周辺および共同利用企業先

【実施日時】 終日（随時実施）

【事業の対象者】子どもを預けて、再就職したいという保護者様、求人を募集している企業

【収入】 150,000円 【支出】 75,000円